



あなたと
どこでも
アート
小さな家
プロジェクト

アート日和 旅する小さな家が やってきた!

2014年11月9日(日) 9:00~13:45
ヒアシンズハウス前庭／別所沼会館

午前9:00~13:45

アート日和「旅する小さな家がやってきた!」
(建築・美術・文学・ダンス)

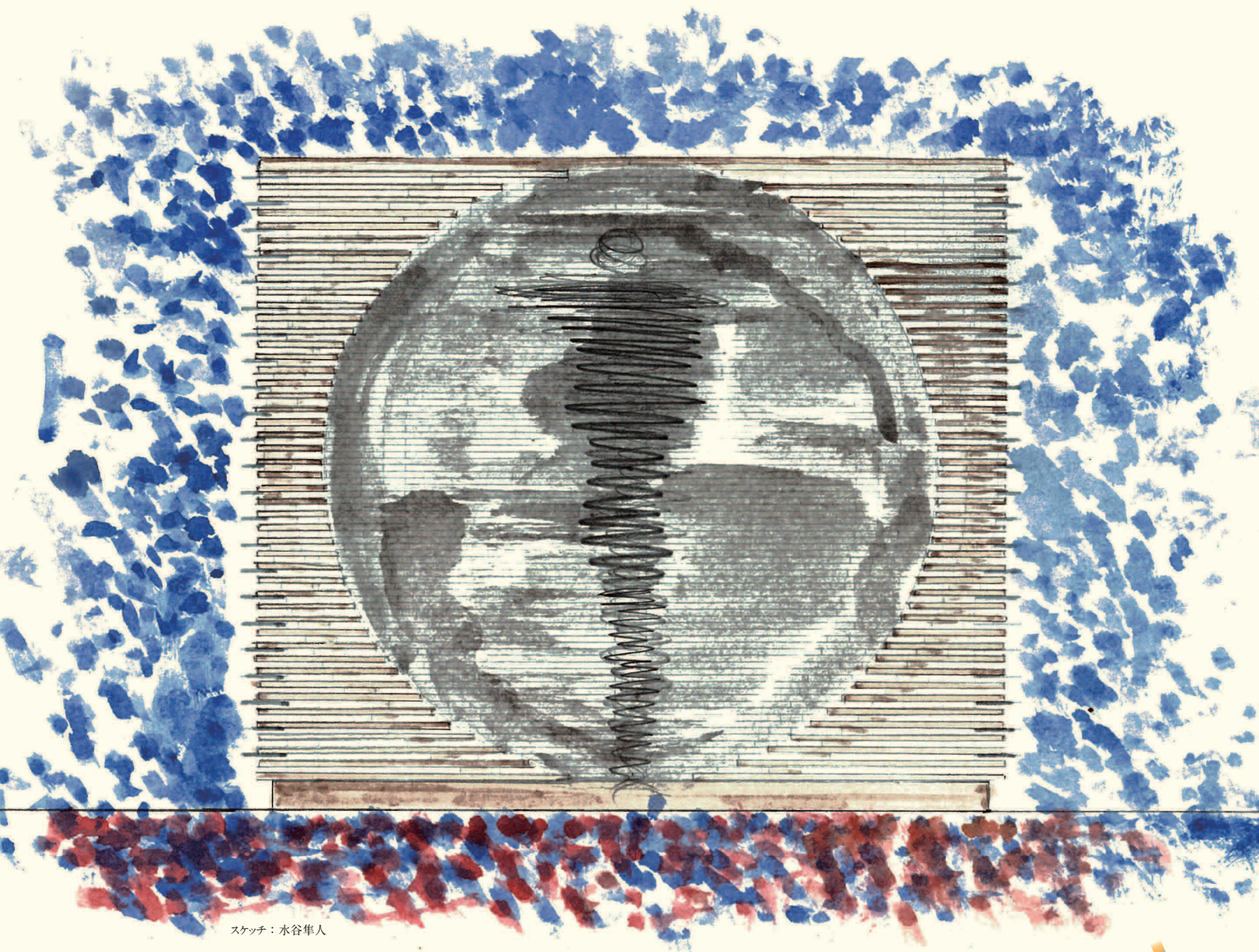
午後14:00~15:40

第10回 ヒアシンズハウス夢まつり
(スペシャルトークと合唱)



建築・美術・文学・ダンスが複合した
不思議なアート空間が出現!

アート空間デザインコンペ「旅する小さな家」で、200点以上の応募作品の中から選ばれた、若手建築家の水谷隼人氏と山本恭代氏の共同設計案が、旅する小さな家として実現しました。最初の旅先は詩人・立原道造の夢の週末別荘「ヒアシンズハウス」の前庭です。パーソナルとパブリックを往還するこの不思議な「家」を基点に展開される、美術インスタレーションや創作ダンスなど、多彩なアートプログラムをお楽しみください。引き続き、立原道造生誕100年、ヒアシンズハウス竣工10周年を記念する「第10回ヒアシンズハウス夢まつり」にもご参加ください。



スケッチ：水谷隼人

アート日和 旅する小さな家がやってきた!

2014年11月9日(日) 9:00~13:45 ヒアシンズハウス前庭/別所沼会館

午前9:00~13:45 アート日和「旅する小さな家がやってきた!」(建築・美術・文学・ダンス)

午後14:00~15:40 第10回ヒアシンズハウス夢まつり(スペシャルトークと合唱)

あなたと
どこでも
アート

小さな家
プロジェクト

■旅する小さな家お披露目 9:00~ ※その後、同日16:00まで見学可能

会場: ヒアシンズハウス前庭(※雨天決行)

旅する小さな家~二つの場所で起こること~

設計: 水谷隼人+山本恭代 協力: 山崎千恵

制作協力: 株式会社東京スタジオ、株式会社アジュール

動画記録: 駒木定生 写真記録: 中村元

水谷隼人

1985年 三重県生まれ

2008年 東京理科大学理工学部建築学科卒業

2008-2010年 東京にてデザイン事務所勤務

2012年 リヒテンシュタイン大学建築学部修士課程修了

2012-2014年 スイス、リヒテンシュタインにて建築設計

山本恭代

1985年 埼玉県生まれ

2008年 東京理科大学理工学部建築学科卒業

2010年 同大学大学院建築学専攻修了

2010年~現在 建設会社勤務

山崎千恵

1985年 茨城県生まれ

2008年 東京理科大学理工学部建築学科卒業

2008年~現在 組織設計事務所勤務

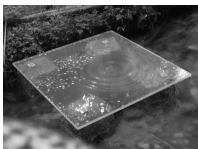
■美術インスタレーション展示

9:00~16:00 鑑賞可能

会場: ヒアシンズハウス(※雨天決行)

アーティスト: 平田五郎

水面(みなも)の風景



■「旅する小さな家」完成記念シンポジウム (10:00~12:00)

会場: 別所沼会館大会議室

司会: 種田元晴(工学博士・一級建築士)

「旅する小さな家」の審査員3名による講演と鼎談

長谷川豪(建築家)、平田五郎(美術家)、北原立木(小説家)

長谷川豪: 建築家。長谷川豪建築設計事務所代表。スイス・メンドリジオ建築アカデミー客員教授。「桜台の住宅」で第24回新建築賞受賞。作品集『Go Hasegawa Works』(TOTO出版)が2012年に刊行。

平田五郎: 美術家。フィールドワークに基づき様々な場所に家のような構築物をつくる作品を展開。2004年五島記念文化賞、2005年 Benesse賞受賞。

北原立木: 小説家。文芸誌『孤帆』主宰。ヒアシンズハウスの会代表。日本ペンクラブ会員。「異物」(埼玉文芸賞)、「青いリンゴの譜」(埼玉文学賞)、「タマ子」、「有尾族をよろしく」などの幻想的な作品で知られる。

コーディネーター・種田元晴: 博士(工学)・一級建築士。専門は建築図学。法政大学、東洋大学非常勤講師。日本図学会理事。主な論文に「建築家・立原道造の描く外観透視図に表現された田園的建築観」など。

■創作ダンス公演 13:00~13:45

コレオグラファーの目 vol.13「旅する小さな家」

会場: ヒアシンズハウス前庭(※雨天決行)

出演: 愛智伸江、江積志織、榎川真理子、桜井陽

観覧料: 無料

協力: 埼玉県舞踊協会「コレオグラファーの目」実行委員会

問合せ: 埼玉県舞踊協会

<http://www.saitamaken-buyoukyokai.jp/>

Tel.048-882-7530(月曜、木曜の10:00~15:30)

国内外で活躍する新鋭振付家たちが、
埼玉の地でアートの拡がりを目指す!

愛智伸江: 3歳よりクラシックバレエを由井カナコに師事。

イギリスRambert Schoolへ留学後、ドイツTheater Nordhausenへ入団。

ポーランドでの活動を経て帰国後、フリーランスとして数々の作品に出演。

近年はDance Sanga(中村恩恵主宰)にてセッションメンバーとして活動。

現在はダンサー活動と平行して創作もしており「みち、道、未知、満ち」

(2012)、「WHITELETTER」(2013)、「tri」(2014)を発表、好評を博す。

地元さいたまでの活動を展開中。

江積志織: 藤井公・利子、上原尚美に師事。彩のくに創作舞踊団所属。文化庁新進芸術家国内研修員。東京新聞主催全国舞踊コンクール創作舞踊部門2位、埼玉国際創作コンクール特別賞、横浜ソロ×デュオCompetition+出場。

桜井陽: 子供の頃にクラシックバレエを習う。その後モダンダンスを藤井公・利子に師事。近年は美術作家とのコラボレーションや美術館・ギャラリー・屋外などさまざまな場所で踊る。

榎川真理子: 若松美黄、津田郁子に師事。カンパニー公演等参加しながら自己の踊り、創作に励んでいる。他者の作品にも積極的に参加している。

同日開催

埼玉県芸術文化祭 2014協賛 2014さいたま市民文化祭参加

■第10回ヒアシンズハウス夢まつりin別所沼 2014記念の会

14:00~15:40 参加費: 無料

会場: 別所沼会館大会議室

10周年スペシャルトーク ~ヒアシンズハウスに関連して~

14:10~15:00

藤森照信(建築史家・建築家。工学博士。工学院大学特任教授・東京大学名誉教授)

司会: 津村泰範(ヒアシンズハウスの会)

合唱 15:10~15:40

La Mer 指揮: 大竹教子

曲目: 「南島歌遊び」より「鳴咽」「戯れ」、「夢みたものは、他

懇親交流会 16:00頃~ 会場: 別所沼会館大会議室

主催: ヒアシンズハウスの会

後援: 埼玉県、さいたま市、埼玉新聞社、JIA埼玉、さいたま文藝家協会、埼玉詩人会

問合せ: ヒアシンズハウスの会代表 北原立木 Tel.048(863)4474

ヒアシンズハウス

詩人立原道造は、1937(昭和12)年冬から翌年春にかけて、当時、華がおい繁り静寂をきわめた別所沼の畔に、自らのために小さな週末住宅(ヒアシンズハウス・風信子荘)を建てようとした。しかし立原が夭折したため、別所沼畔に紡いだ夢は実現しませんでした。詩誌「四季」を主な舞台として、立原は青春の憧れと悲哀を音楽性豊かな口語詩で謳いあげ、わずか24歳8か月でその短い生涯を閉じましたが、一方では、将来を嘱望された建築家でもありました。立原が「別所沼のほとりに建つ風信子ハウス」を構想してから六十余年の時間が過ぎた2004(平成16)年、別所沼周辺の芸術家たちの交友の証として、立原がかつて夢みた「ヒアシンズハウス」は「詩人の夢の継承事業」として建設の機運が高まり、多くの市民たちや企業、行政の協調のもとで建設が実現することとなりました。

JR埼京線中浦和駅下車 徒歩約5分(ヒアシンズハウス)、徒歩約10分(別所沼会館)

またはJR浦和駅から国際興業バス(浦10・浦11・志01)別所沼公園下車

